



# 銀杏 《 愛校 自主自律 》

～生徒一人一人が主役を果たす、「生徒が育つ学校」の創造～

宮内中学校 学校だより

## 新たな年度とともに、新入生を迎える準備も万全です！！

「に(逃)げる2月、さ(去)る3月」とよく言われます。3学期も、令和6年度も、残すところあとわずかとなり、心の慌たしさも感じられるようになってきました。そのような中、1月31日(金)に、生徒会主催の新入生説明会が行われました。例年であれば、もっと早い時期に行っていましたが、感染症蔓延防止のために延期となり、この日の開催となりました。

この会は、新生徒会執行部が中心となり、宮小・漆小の6年生に宮中の生活や行事について、工夫を凝らしながら、楽しくわかりやすく説明をしてくれました。自分の殻を破り、大事なことを自分の言葉で後輩に一生懸命に伝えようとする姿に、大きな成長と新年度への意気込みを実感しました。令和7年度に新1年生となる皆さんも、新たな中学校生活に期待が膨らんだことと思います。新年度も、ますます楽しみになりました！



## “宮中生の勇気と行動力”が、このまちを元気にしてくれています！！

2月10日(月)は、最強・最長寒波の影響で大雪が続き、市内至る所で道幅が極端に狭くなるなど、日常生活にも大きな支障が出た朝を迎えました。そのような中、校長室に一本の電話がありました。その内容は、「登校途中の宮中生数名が雪で立ち往生した車を見つけ、躊躇なくすぐに手助けをしてくれた姿に感激した。」というものでした。また、その方からは、手助けしてくれた生徒に限らず、横断歩道等でのお辞儀など礼儀もしっかりしている生徒が多く、いつも感心しています。」と、お褒めの言葉もいただきました。他にも、私の知らないところで地域の役に立つ活動をしている宮中生もいるはず・・・。宮中生の日頃の振る舞いが、この地域に活力を与えていることを改めて教えていただき、とても心が温まりました。本当にありがとうございました。

## 宮内地区“冬のわくわく大作戦”で、NAFが大活躍!!

今年も、恒例の宮内地区雪まつりが雪不足(1月まではそうでした・・・)のため、“わくわく大作戦”として、2月2日(日)に開催されました。当日の朝は、とっても寒かったせいか、客足がまばらだったものの、結果として昨年の来場者数を上回る大盛況でした。その立役者として活躍したのが、本校ボランティアチーム NAF の皆さんでした。

前日から、玉こんにゃくを仕込んだり会場の飾りつけを行ったりと、地域の方と精力的に活動しました。当日も、受付、玉こん・ココア振る舞いや綿あめ機の補助、レモネードスタンドや飲み物販売補助など、地域の方々や小さな子供たちと楽しくコミュニケーションをとりながらイベントを盛り上げました。NAF の皆さんの優しさが地域にたくさん伝わった素敵な一日となりました。大変お疲れさまでした!



## 今年度も残すところあとひと月... さらなる成長と飛躍を期待して...

これまでお伝えしてきたように、今年度も宮中生一人一人は、大きな成長を遂げてきました。それは、生徒会スローガン「新-Shin-」を掲げて頑張ってきた大きな証でもあります。しかしながら、次のステージを考えた時、このままで満足してほしくありません。もちろん、3年生にとっては、進路実現という大きな目標があります。1・2年生にとっても、3年生から学んだ多くのことを、今から実行していくという使命があります。宮中は、生徒一人一人が主役を果たし、自分たちの手で「我夢謝楽」に進んできた学校です。

また、生徒会の重点「新たな挑戦」についてももう一度振り返り、残りのひと月をさらに充実させてほしいと願っています。さあ、あなたの中の「新たな挑戦」は、何ですか・・・?



### 【校長の独り言...】

ある日、何気なくネット記事を眺めていると、自分にとっては衝撃的なタイトルを見つけ、驚いてしまいました。

皆さんは、「プチトマト」と「ミニトマト」の違いをご存じでしょうか? また、「プチトマト」は今、どこにも売っていないということをご存じだったでしょうか??

昭和五十年に、「ミニトマト」「プチ」という品種が発売されたそうです。「プチトマト」とは商品名で、当時のパッケージには「ロトトマト」ともに書かれてあったそうです。つまり、「プチトマト」は「ミニトマト」の品種名の一つなのです。当時は、大玉トマトが主流でしたが、少しずつ小さいトマトの需要が増えました。同時に、団地やマンションが増え、自宅のベランダでもプランターで簡単に栽培ができるトマトとして「プチトマト」を発売、大ヒットとなりました。その後、次々と「ミニトマト」の品種改良が進んで新品种が発売されることになり、やがて、「プチ」の品種はその役目を終え、平成十九年に販売終了を迎えたそうです。つまり、もう「プチトマト」の品種を買うことはできません。

健康のため、毎朝、無塩トマトジュースをコップ一杯飲んでいますが、この事実が本当に驚きました。世の中には、知らないことがまだまだたくさんあることを痛感しました・・・。

